

NPO法人 LIFE



茂串町にある古民家カフェ半平の管理運営をしている、特定非営利活動法人LIFEの3人の女性スタッフ。カフェの運営だけでなく古民家ならではの四季折々の展示やイベントを企画しています。半平の持つゆったりとした空間で楽しんでもらえるよう、和菓子作りやヨガ体験、陶芸などのワークショップも開催。参加した方からは、集中できて充実した時間が持てたなどの感想をいただいたそうです。

カフェでは女性ならではの発想で居心地のよい雰囲気作りを心がけていて、授乳やおむつ交換ができるスペースもありママにも嬉しい配慮があります。

これからも、半平を町民の方の癒しとなる場所にしていきたい、と話す3人の笑顔が印象的でした。

田 渕 三 奈さん〈ウエル花夢〉

大正大奈路で生まれ育ち、小さいころからお世話になっていた支配人からのお誘いがきっかけでウエル花夢で働くようになった田渕さん。県内でも珍しい鉄砲の狩猟免許を持つ狩猟ガールです。狩猟経験はなんと保育園のときから。父親や地域の方々が鳥やイノシシを捕る姿を見ながら育ったそうです。

そんな田渕さん、ものづくりが好きで、得意の縫い物で地域の方々のために、帽子や布マスクを作られていました。お客さんや地域の方々に喜んでてもらえたときが一番嬉しいそうです。明るく優しいその笑顔は、訪れた人みんなを笑顔にしてくれます。



市 原 汐 里さん〈窪川警察署〉



昨年の4月から窪川警察署の地域課で活躍されている市原さん。警察官に憧れたのは小学生のときから。地元の警察官のまちを守る姿にも感銘を受け、警察官をずっと志してきたそうです。普段は窪川の街中を中心に、犯罪抑止や変わったことがないかを確認するため、1軒1軒のご自宅をパトロールされているそうです。

日々起きるできごとに的確な判断や行動が求められ、大変なこともあるそうですが、地域の方々から「ありがとう」と声をかけてくれることが嬉しいと話してくれました。通学路のパトロールの中でも、四万十町の児童・生徒の皆さんの礼儀正しさに驚いたと言います。まちの平和と安全を守ってくれている心強い味方です。

#シリーズ 3

四万十町×女性が活躍できるまち



NPO法人LIFEの皆さん
(左から、谷脇 由紀さん、敷地 鮎美さん、嶋岡 文さん)

大切にしたい、大切なこと。

仕

事もプライベートも充実した毎日を。女性の社会進出が進み、共働き世帯も多い中、性別に関係なく、それぞれが同じ立場で、安心して仕事や生活ができる環境づくりが求められています。人口減少が進む中、本町では特に若い女性人口の減少が著しく、それは出生数の低下にも影響し、学校や仕事、地域への影響も大きくなりつつあります。そんな状況だからこそ、女性が活躍できる場所や、安心して仕事や生活ができる環境をまち全体で作っていくことが大切です。今月の特集では、“自然に倣う 人に寄り添う 暮らしを提案する”をコンセプトに、四万十手仕事市や子ども・育児支援などの事業を手掛けているNPO法人LIFEの取り組みと、四万十町内で活躍する女性の皆さんをご紹介します。